

年中もも組担任

バナナ鬼



鬼決めするよ
げつ、か、すい…



だれか
たすけてー



この日も「バナナ鬼しよう♪」「いいよ!」と、やりたい子が10人ぐらい集まって、バナナ鬼を楽しんでいました。そんな楽しそうな様子につられ「入れて」と入ってくる子もいました。後から入ってきた友達に「今、〇〇君が鬼だかね」と、その友達がすぐに楽しめるように声をかける姿もありました。

しばらくして、鬼だった子が「つかれた〜」とポツリ。それを聞いていた友達が「おに、2人にする?」また別の子が「かわろうか?」「変わり鬼にする?」と声をかけていました。すると、鬼だった子は、友達の優しさがパワーになったようで勢いよく走り出して、バナナ鬼が続いていました。

楽しんでいる様子を見て、子供同士で何とかできそうだなと思ったので、見守っていました。

バナナ鬼が終わった後に、友達のことを思って言ってくれたことは分かっていたのですが、どうして声をかけたか聞いてみると「つかまえられなくていやになったかなと思ったから」「つかれちゃって、走るのが遅くなったら捕まらなくなったらつまらないじゃん」と言っていました。

ついこの間までは、「えーちがうよう、捕まったらこうするんだよ!」「鬼は〇〇君だから〇〇君は鬼じゃないでしょ!」「やっぱりやめた」という姿があったので、私も仲間に入ったり、ルールが共有できるようにつないだりしていたのが、数日で子供たち同士でルールを作ろうとしたり、鬼ごっこの楽しさを知ったりしている姿に成長を感じました。